

国際政治学

講義10 国内政治と国際紛争 ～2レベル・ゲーム～

早稲田大学
政治経済学術院
栗崎周平

国内政治と対外政策

【単一行為者仮定】 gov = blackbox

国益・対外政策目標は一枚岩として固定

【アクターとしての政府・政治指導者】

- 国家ではなく、政府・政治指導者が政策立案・実行
- 国益 vs. 政治的利益
 - ⇒ 国益と政治的利益の**一致**: 単一行為者仮定は問題ない
 - ⇒ 国益と政治的利益の**不一致**: 単一行為者仮定は問題あり

【政治的利益と国際紛争】

- 国民・国家の被る戦争コストよりも、戦争による利益を優先
- 国内政治・政治的利益による、「交渉の失敗(=戦争)」

2レベル・ゲーム

【政策決定・遂行者】

- 政府・政治指導者
- 国内政治への責任
- 国内政治ゲームでの勝者
- 戦略的政治アクター

【対外政策と2つのオーディエンス】

- 他国を相手にした国際政治
 - 国内政治アクターを相手にした国内政治
- ⇒ 二つのオーディエンスをもつ2レベル・ゲーム

2レベル・ゲーム

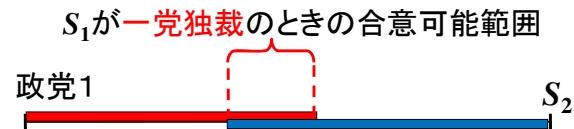
【2レベル・ゲーム】

- 対外交渉というゲームと国内政治過程というゲーム
- 政府・政治指導者は2つのゲームを同時にプレー
 - 2つのオーディエンスを同時に納得させる政策が必要
 - 例: 沖縄の基地問題
- 2つのレベルの因果関係が相互に影響
 - 要因やそこから生まれるインセンティブも内生的

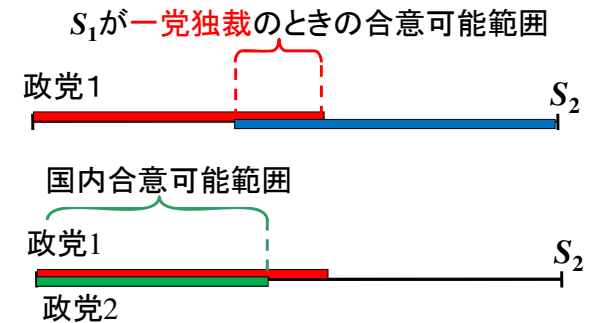
【2レベル・ゲームの意図せざる帰結】

- 例: 「**シェリング予想**」
- 「国際交渉の場において、政府が直面する国内的制約が大きいほど、その政府の対外的交渉力が高まる」

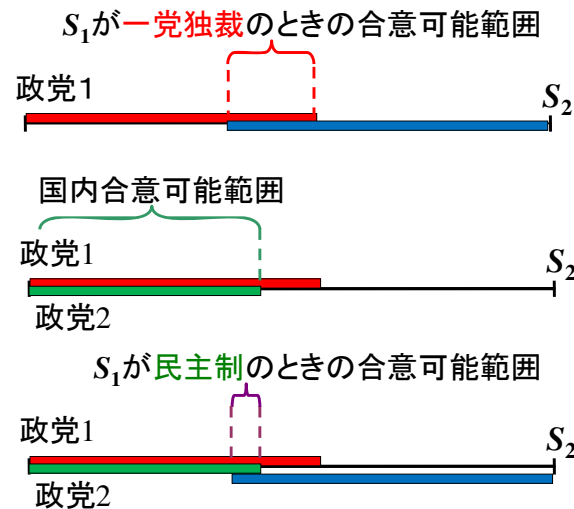
2レベル・ゲームと「シェリング予想」



2レベル・ゲームと「シェリング予想」



2レベル・ゲームと「シェリング予想」



国内政治と対外政策の分析枠組み

【国内政治アクター】

- 政府・政治指導者
- 官僚組織(軍)
- 利益集団
- 一般国民

【政治制度】

意思決定過程・アクター間の影響力を規定

- 軍事独裁制
- 絶対君主制
- 民主制